

実践事例や教材の活用事例等，英語科の先生方に参考にしていただける情報をお届けします。

実践
紹介Output First!
~使って学べ!!~

明日香村立聖徳中学校
住谷 淳太郎

はじめに 私は学生のころ，いわゆる英語が得意な学生であった。多くの単語を覚え，筆記試験では高得点を取り，それが何よりの勲章だった。しかし，初めて海外へ行ったとき，何も表現できず恥ずかしさを覚えた。知識だけでは英語は使えない。それ以降，機会を見つけては英語を使い，練習してきた。英語教員として英語を話せねばという焦りはあったものの，それ以上に楽しさがあった。「あ，伝わった!」「相手とやりとりができて互いに笑えてる!」この嬉しい感覚は今もずっと変わらない。こんな楽しさを，子どもたちにも表現活動を通して感じてほしい。そんな活動の一例を紹介させていただく。

活動例

①マシンガンQ&A (→3ページ目にサンプルを載せています)

これは授業のWarm-upで取り組んでいる。2分間，質問する側と答える側を決めてやりとりするという単純な活動である。ここにいくつかのルールを設けて，子どもたちは取り組む。

- <ルール> 1. 答える側は，できるだけ質問を聞き取り答えようとする。
2. 必ずリアクションをとる。(オウム返し，疑問詞での質問など)
3. 必ず英語だけでやりとりを完了する! (ごまかしの笑顔はなし!)

こういったルールを設け，毎回ペアを替え，2週間に1度新しい質問シートを渡すことで飽きないようにするよう心がけている。活動後には，1つの表現に焦点を絞って，みんなの考えを共有し，次にやるときには表現の幅を広げられるようにする。この活動を通して子どもたちは，日英の語順の違いや，既習の文法の使い方に気づく。「あ，こういうときに使うんか」「この単語使ったら，それ言えるんや」など，子どもたちは多彩な表現に出会い，また共有することで学びが深まっている。定期的にALTと2分間のインタビューテストもあり，増えていく語彙や文法が自分たちの表現を広げているのも感じられ，またALT自身も楽しいテストとなっている。

②Picture Describing

これは，自分が見ている絵を英語にして伝える活動である。ペアの子は，相手の英語を聞き取り，それを絵に描く。答え合わせで実際の絵との違いに笑いも起きるが，そこで「どう表現したらいいんやろう」と知的好奇心が湧いてくる。この活動はいわゆる「発表」の色が強く出るので，英語学習を始めたばかりの1年生からでもトライでき，楽しめるものである。

私も、この活動を通して子どもたちと一緒に文法のコア的なものを感じ学んでいる。ノートやワークには、文法の細かな使い方などが示されている。しかし、コミュニケーション中にはそれらを感じる事ができず、最終的に身につかない。この活動では、ねらいをもって取り組ませることで、子どもたちに文法のコアに触れさせることができる。ここで、中学2年生でThere is構文を学習しているときの活動の様子を紹介する。

<場面1>

A: "There is ... three people."

B: "There is ? There are three people?"

A: あ、そうか。"There are three people."

絵を描く側のBも、正しく絵を描きたいから聴こうとし、Aにフィードバックも与えられた。

<場面2>

A: "There are Tom and Kate in this room."

B: "There are ... Tom and Kate ... in this room." (Bはリピートして絵を描いている。)

こういう場面に活動中は多く出会う。終了後必ず全体で共有する場を設けているので、そのときに話題に挙げている。ノートやワークに「特定の人やものを説明するときにはこの文法は使えない」とある。基本的な説明だが、自分たちが作った文を通して初めてどうということか想像がつくのだ。そこで、「じゃあThere is 構文を使わずに、この言いたいことはどう伝えればいいのか」と問うと、また子どもたちは考えを巡らせる。"Tom and Kate are in this room." という中1で学んだ英文と、中2で学ぶThere is構文の違いがはっきりと感じられ、伝えることができる。こういう機会を何度も積むことで、子どもたちは英語で表現することに目的をもち始めた。翻訳ソフトのように、逐語訳ではなく、何を自分は伝えたいのかを考えて、文法を分別し使うようになる子もでてきた。もちろん、私も完璧に文法を身につけているわけではないので、こういう活動を通して子どもたちと一緒に学ばせてもらっている。そんな新しい知識との出会いが私は楽しい。私が楽しむことから、子どもたちにも表現の楽しさが伝えられると思っている。

最後に 英語科に対して、特に英語で表現することに対して、子どもたちみんなが積極的なわけではない。そんな子たちを相手に、ペアワークを始めるときですらドキドキして、うまくいか不安で仕方なかったのを覚えている。(全くうまくいかなかったことも覚えている。) 子どもたちもうまくいかず不安だったと思う。しかし、何度も一緒にやっていく中で、やり方や表現を理解し段々と波に乗っていく。だから今は何度うまくいなくても、立ち止まり子どもたちに目的を伝え、もう一度一緒にスタートを切る連続だ。今は特にペアやグループワークにも配慮がいる時勢である。コミュニケーションをとらせにくい中ではあるが、子どもたちにコミュニケーションをとる喜びなしで英語を学ばせたくない。形を変えてでも、英語で表現し、伝え合う喜びを子どもたちと一緒に作っていきたいと思う。



第 2 学年 マシガンQ&A ⑦

☆自分で質問を考えて、会話をつなげていこう！ステップアップや！！
 <質問文> <和訳> <答えのヒント>

1	Do you eat snacks at home? □□□□□□□□□□	家でお菓子を食 べますか。	Yes, I do. No, I don't.
2	Which country do you want to go to? □□□□□□□□□□	どの国にあなた は行きたいです か。	I want to go to ~.
3	Do you have to walk to school every day? □□□□□□□□□□	毎日学校へ歩 いて行かなけれ ばなりません か。	Yes, I do. No, I don't.
4	Do you like to listen to music? □□□□□□□□□□	音楽を聴くのは 好きですか。	Yes, I do. No, I don't.
5	What do you call ()? □□□□□□□□□□	()のこと、 なんて呼んで る？	I call ~ 何.
6	What were you doing at 8 p.m. last night? □□□□□□□□□□	昨夜8時に何を していましたか。	I was どうするing~.
7	How many convinience stores are there in Asuka? □□□□□□□□□□	いくつコンビニが 明日香にはあり ますか。	There are ~.
8	When you grow up, what do you want to be? □□□□□□□□□□	大きくなったと き、何になりた いですか。	I want to be ~.
9	If it were Sunday every day, what would you do? □□□□□□□□□□	もし毎日が日曜 日なら、何をしま すか。	I would どうする~.
10	What do you think about universal design? □□□□□□□□□□	UDIについてどう 思いますか。	I think 何は どうする